

熊野おとしより相談センターだより 秋号 (熊野地域包括支援センター)

～担当地域～

板橋2丁目(18番～21番、54番、55番)
 大山金井町
 大山東町(1番～16番、18番、26番、27番、29番)
 熊野町、中丸町、幸町(1番～6番)、南町



平成28年10月1日より、見守りキーホルダー事業が始まりました。

★対象者は？

原則、板橋区内在住の65歳以上の高齢者です。65歳未満の方も若年性認知症による徘徊がある方等、キーホルダーを配布したほうがよいと思われる方については、対象となります。また入院・入所の方で、抜け出し、徘徊の恐れがある方は対象となります。

★緊急連絡先が必須です。

この事業は、一人暮らしや身寄りのない方を特定し、身元を判明させ、緊急連絡先につなぐための事業です。

★申請場所

担当のおとしより相談センターです。申請時に、その場でキーホルダーを配付します。

★身に着ける場所

キーホルダーは、外から見えるように身に着けることを推奨しています。また、いつも持っているものに付けてもらいます。

～ホームページをのぞいてみませんか・・・～

熊野おとしより相談センターでは、ホームページを更新して地域の情報や、季節ごとの様子、ケアマネジャーさんや地域の皆様へ、情報発信しています。ぜひご覧ください。
 「熊野地域包括支援センター」、もしくは「板橋区熊野包括」で検索してみてください。





「熊野地区ネットワーク会議委員紹介」

今回、板橋区医師会・会員で、熊野地域内で開業されている「幸町クリニック」の横山卓司先生にお話を伺いました。

★同委員に任命されたことについてお考えをお願いします。

今まで、患者さんを通して、家族等とかかわってきたが、これからは地域ともかかわっていききたい。

★地域医療について先生のお考えとは？

この地域で約15年患者さんを診てきたが、板橋区は全国でもトップレベルにあり、介護医療が充実している。かかりつけ医、在宅診療をはじめ、多くの先生方が、努力されている。その仲間入りをし、人の役に立ちたいと考えている。

★先生のご専門はなんですか。

「内科です。」

★認知症を含めた地域医療連携について、先生のクリニックでの状況は？

患者さん本人より、家族から報告を受けて本人に確認し、健康長寿医療センター物忘れ外来を案内している。精神面も含め患者さんを支えている。今後はそうした医療機関連携とともに、地域との連携も必要になってくると考えている。今回の会議もそのきっかけだと思っている。

★地域における先生から見た課題。

困りごとはないが、認知症デイがこの地域には少ないと思う。これから一人暮らし高齢者も増えていく。居場所づくりが課題だと思う。食事も摂れるような「食堂」や「認知症カフェ」があれば、いいと思う。

★最後に先生の「マイブーム」をお聞かせください。

「人に食べてもらうための料理作り。」

「時間があれば、料理本の写真を見て自分なりに工夫して作ります。見た目、味も好評ですよ。」

取材での印象は、気さくでとても穏やかな先生でした。横山先生、ご協力ありがとうございました。

～職員紹介～

9月1日付けで配属された
住吉厚子看護師です。



よろしく
お願いします。

お気軽に、ご相談
ください。

熊野おとしより相談センター 窓口開設時間

月曜日～土曜日(日祝休)
9:00～17:00

〒173-0026 板橋区中丸町27-11(中丸いこいの家 内)
熊野おとしより相談センター(地域包括支援センター).....
【電話 03-5926-6566】 【FAX 03-3973-3531】